

マンスリー・トーク(73)

2014.12.1

木村 譔

大阪の名所は？

身内のものが言う。奈良や京都なら行くところが多いのに、大阪は、日本第二の大都会なのに大阪城とか道頓堀ぐらいしかないのね。そう聞くと、私は黙ってられない。とっておきの大阪名所に行こう。

仁徳天皇御陵(堺市 百舌鳥)

芦屋のFくんと、天王寺からJR阪和線で百舌鳥にゆく。仁徳陵は、全長486メートルで、我が国最大の前方後円墳、エジプトのピラミッドよりも、秦の始皇帝の墓よりも広大な世界一の墳墓なのだ。



堀を隔てて、前方部の高さ37メートルの築山の森が見える。三重の環濠が巡らされ、一番内側の堀が最も幅広い。宮内庁が外堀一周をブロックしていて、御陵の写真を取れるのはこの角度しかない。



一番外側の堀

堀の外周を、時計の6時から9時方向まで歩く。途中、陪塚という小さな古墳が点々とあり、他にも履中天皇陵、反正天皇陵など大きな古墳がこのあた

りにひしめいている。仁徳陵の周辺を4分の1巡り、あと大仙公園、博物館を見て回ると、この見学はかなり健脚向きだと思う。私が仁徳陵を推すのは、仁徳帝の時代は、まだ仏教文化が入っていない時代、そして文字の無い時代の大王の墳墓なのだ。聖徳太子よりも古い、飛鳥時代よりも古い、古事記、日本書紀よりも昔の大王がこんなとてつもない墳墓をつくって、収まっている。その強大な政治力、動員力がどんなことで可能になったのだろうか。

大阪・難波の高津の宮

仁徳帝は四世紀、大阪・難波の高津に都を置いた。



今、難波の仁徳帝の宮殿のあたりには高津宮があって、菊の紋章が古い日くを示している。帝は、宮殿のテラスから下に見える民のかまどの煙を見遣り、暮らしが厳しくないかと気遣った治世の徳。それで仁徳の名を贈られたという故事が、大阪市歌にも唱われているのです。



宮は上町台地にあり、西と南が下がって民の暮らしが見下ろせる。現代は、マンションやビルが並んで、民のかまどの煙はまるで見えないのです。